



## 学校再開に向けて 校長 川井 まさよ

新年度が始まって、もうすぐ2か月が過ぎようとしています。3月から数えれば、3か月及び休校期間となりました。この間、始業式、入学式を行うこともでき、また、学校からの課題の対応として、Webサイトからのダウンロードやプリントアウトをしていただいたり、お子様に勉強を促したりと、保護者の皆様のご家庭での様々な対応に、心より感謝しております。

先週、まずは39県での緊急非常事態宣言の解除が発表され、21日をめどに、東京を含む残りの8都道府県についても、解除できるかどうか改めて判断されるということで、6月からの学校再開の可能性もみえてまいりました。

ご存知のように、緊急事態宣言が解除されたからといって、新型コロナウイルスの感染の危険がなくなるわけではありません。学校としても、分散登校の方法や授業の形態、指導の内容などあらゆる場面で、できる限りの3密の状態を避けることで生徒の安全を守りつつ、かつ、学習も含めた学校での必要となる教育活動を効果的に実施できるよう、工夫し、実践していきます。



毎日のコロナ関連のニュースで、社会状況の悪化や非常事態宣言が解除された国で、再びクラスターが発生したなどということを知ると、「またすぐに非常事態宣言が出され、休校となってしまうのでは?」とか「学習は?高校入試はどうなるのだろう?」などという、先の見えない不安が募り、ともすると頑張ろうという気力も続かず、あきらめに似た気持ちも出てきてしまいそうです。

しかし、その一方で、このような苦しい状況の中でも、新しくお弁当やデリバリーを始めたとお店の話とか、先日は、これからの暑い季節でも着用できる冷感マスクが売り出されたとかという様な話も聞かれ、限られた状況の中で、どのようなことができるのか、必死に考え、できることはやってみようというような、挑戦する人たちには、こちらも元気づけられます。きっと、二中の生徒たちも、この休校期間中、自分から学んでいくことの大切さに気付き、学習に自分スタイルで取り組んでいる人や、学習以外にも、運動不足のために人手の少ない時間帯に走っている人や、家族のために食事を作ったりするなど、自分なりにできることを探し、挑戦している生徒がたくさんいると思います。

どのような状況においても、前向きに、目の前の課題に対して背を向けずに、解決する方法を模索し、あきらめずに取り組んでいく態度を生徒に育成することは学校の役割と考え、教育活動を通して取り組んでいきます。

学校が再開しても、感染拡大を防ぐために、様々な制約やご不便をかけることと思いますが、どうぞご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



# 感染症対策を再確認

学校では、再開に向けて準備をしています。感染者数は全国的に減少傾向にありますが、予断を許さない状況です。大切なことは、クラスター（集団）発生を防止することです。感染症予防対策をもう一度確認しましょう。

## 3つの「密」を避けましょう！

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をお願いします

**①換気の悪い  
密閉空間**

**②多数が集まる  
密集場所**

**③間近で会話や  
発声をする  
密接場面**

3つの条件がそろった場所がクラスター（集団）発生のリスクが高い！

※3つの条件のほか、**共同で使う物品**には消毒などを行ってください。

**新型コロナウイルスへの対策**として、**クラスター（集団）の発生を防止**することが重要です。日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

## 感染症対策

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

**①手洗い 正しい手の洗い方**

手洗いの前に、爪は短く切っておきましょう。時計や指輪は外しておきましょう。

- 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- 手の甲をのばすようにこすります。
- 指先・爪の間を念入りこすります。
- 指の間を洗います。
- 親指と手のひらをねじり洗います。
- 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

**②咳エチケット 3つの咳エチケット**

電車や職場、学校など人が集まる場所でやるう

マスクを着用する（口・鼻を覆う）  
ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う  
袖で口・鼻を覆う

何もしずに咳やくしゃみをする

**正しいマスクの着用**

- 鼻と口の両方を確実に覆う
- ゴムひもを耳にかける
- 隙間がないよう鼻まで覆う

咳やくしゃみを手でおさえる

詳しい情報はこちら

厚生労働省

検索